

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創 立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会 長 島 田 洋二郎

副会長 松 本 恭 一

幹 事 石 毛 充

会 計 金 子 芳 則

2016~2017年度 RI テーマ

人類に奉仕するロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY

2016~2017RI 会長 ジョンF. ジャーム

Rotary



例会日時 毎週水曜 12:30~

例会場 銚子商工会館 5F大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館4階

電 話 0479-23-0750

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第2932号 (2017年2月1日発行)

今週のプログラム

「新入会員卓話」

石毛 英俊会員

前回例会報告 (1月25日)

点 鐘 : 島田 洋二郎会長

ロータリーソング : それでこそロータリー

四つのテスト唱和

ビジターなし



会長挨拶



日本海側では荒れ模様が続き、特に中国地方、では大雪となっているようですが、今日、1月25日は「日本最低気温が樹立された日」だそうです。1902年(明治35)、の1月25日に、北海道旭川市で、日本の最低気温の公式記録・ -41.0°C を記録

しました。1978年(昭和53)2月17日に、北海道・幌加内町でこれより 0.2°C 低い -41.2°C を記録したそうですが、気象庁の公式記録の対象から外れていたため、旭川の記録が公式の日本最低気温となっています。上空1万メートルの気温がおおよそマイナス40度だそうで、よく言われるのがバ

ナナで釘が打てるというのがありますが、地上で熱湯をぶちまけると、そのお湯が一瞬で雪に変わるほどの寒さということです。

今週の月曜日、青野秀樹会員、石毛幹事と一緒に千葉ロータリークラブへご挨拶に行っていました。千葉へメーキャップしたのは初めてでしたのでその模様を掻い摘んでお話をさせていただきます。

会場は中央公園うしろの「三井ガーデンホテル3階・平安の間」、最近では地区の会合でも良く使われる会場で、メーキャップ料は3,000円でした。例会場に入ると正面中央に、横が3メートル近い国際ロータリーのテーマ旗の下に、日ノ丸と千葉クラブのロータリー旗が飾られていました。会場はホテルということもあって丸テーブル、私たち3人の席は前列中央の田中会長と一緒の席でした。私のとなりは東京海上の吉田正子さんというとても綺麗な方で、銚子の永澤会員や灰谷さんの話で盛り上がってしまいました。例会が始まるまでの間はピアノの生演奏があり、吉田さんにお聞きしたところ、年間でプロと契約をしているとのことでした。

12:30、田中会長の点鐘のあと、ピアノの伴奏でロータリーソング、4つのテスト唱和が行われ、料理が運ばれてきました。フランス料理のコースで、パン、前菜は野菜のゼリー寄せ、メインディッシュは魚をまるまる一匹素揚げした横に、マッシュポテトと菜の花が置かれソースが添えられていました。最後にイチゴのデザートとコーヒーが運ばれ、食事時間は20分間でした。

最初に戻りますが、食事が始まるとすぐに会長挨拶となりましたが、田中会長から当日のお客様紹介を含めて1分もかからなかったと思います。



第2790地区

ガバナー 青木貞雄 (成田コスモポリタンRC)

広報・会報委員会 委員長 信太 秀紀

委 員 金子 芳則

初めて伺いましたので毎例会がそうなのかわかりません。

12:50 からセレモニーに入り、最初にご挨拶をさせて頂きましたが、そのあとニコニコの紹介(私共も銚子ロータリークラブの名前で払わせて頂きました)、他は細かな幹事報告、委員会報告、記念日の祝福も無くとてもシンプルなもので、5分ほどで終了し、卓話となりました。

当日の卓話者は、昨年10月に銚子へも来られた、地区職業奉仕委員会の中村委員長のお話で、昨年を思い出しながら聞かせて頂きました。

卓話が終了したのが1時26分頃で、そのあと2名の方が質問をされ、閉会の点鐘が1時38分となりましたが、例会時間がオーバーしても皆さん整然と落ち着いて最後まで席に着かれていたので、あまり気にはされないのかなとも感じました。出席率の報告も有りませんでした。当日は私共も含めて60名くらいではなかったかと思えます。会員数は現在82名ということです。

田中会長からは60周年へのご出席と当日の祝辞をお受けして頂き、記念誌の原稿もお願いをしてきました。また、千葉クラブ会員の太田 康司様(銚子東の太田様の御親戚)、飯沼本家の飯沼喜市郎様ともお話をさせて頂き、例会場を後にした、というところです。

これまで色々なクラブの例会へ出席をして来ましたが、今回初めて千葉ロータリークラブへ伺った全体の感想は、会場の雰囲気からして整然とした厳粛で品格のある、会員の無駄話なども一切なく、たとえば言うなら、穏やかな川が静かに流れていくような例会だったと思います。ただ、食事がそのような静かな中でのフランス料理でしたので、食器の音をあまりたてないようにすることに気を使って、田舎ものとしては味がよく解らなかったというのが本音です。

皆さんも機会があれば、スポンサークラブである千葉ロータリークラブへメーカーキャップをさせて頂いては如何でしょうか・・・。

幹事報告

【週報拝受】

波崎RC・鹿島臨海RC・小見川RC

1. 地区研修協議会での表彰候補推薦のお願い
2. 年次寄付レポート

…ガバナー事務所

【例会変更】

小見川RC

2月22日(水)は18日(土)IMに振替のため休会

会員の記念日

☆結婚記念日

桜井 広和会員(1月21日)

上総 泰茂会員(1月24日)

☆創業記念日

宮内 龍雄会員(1月20日)

ニコニコBOX なし

～職業奉仕バズセッション～

佐藤直子職業奉仕委員長



今年度より奉仕プロジェクトの方針が、規定審議会において激変したことは皆様もご承知の通りでございますが、「奉仕プロジェクト部会」のなかに職業奉仕委員会・社会奉仕委員会・国際奉仕委員会と三つが同じ位置づけで組み

込まれました。また、ロータリーの根幹とも言われてきた「職業奉仕」に対する考え方も、時代の変遷と共に、その考え方が色々問われてきています。是非、この過渡期にもう一度、「職業奉仕」について考える機会を設けたいと思いますので、当クラブの会員の皆様の個々の考え方やクラブとしての方向付けが出来たらと考え、例会に於いて、フォーラム・ディスカッション(テーブル・ディスカッション)を開催したいと思います。

<ディスカッション・テーマ>

「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」という職業奉仕の理念について貴方はどう思われ、また、普段からどんな実践をしていますか？(上記のテーマにて30分程度のディスカッションをして頂きたいと思います)

Aテーブル

リーダー：高橋宏資会員



職業奉仕について
①「奉仕」というと「勤労奉仕」のイメージ

があるので、無償で何かをするという感じがする。
②もともと「サービス」とは神に仕えるという意味であるが、「サービス」=提供すると考えれば、職業奉仕を理解できるのではないかと。

③日本では「奉仕」=無償というイメージがあるので、「サービス」を「奉仕」と訳された時から、日本人には職業奉仕を理解することが難しい。

④現在、職業奉仕が社会奉仕に傾いている。

⑤アーサー・フレデリック・シェルドンがこの言

業を提唱した1900年頃のシカゴでは、利益を追求するのに手段を選ばず、利益を独り占めしていた時代背景から、「職業奉仕」という考え方は、他人の立場を考えて、他人のためになるようにサービスすれば、おのずと利益を生み、その利益を独り占めするのではなく、従業員や顧客に還元することにより、より多くの利益を生むという善の考え方に基づいている。

⑥見返りを求めないのが奉仕であるといわれるが、職業奉仕の場合の奉仕は、見返りを求めずとも、見返りは後からついてくるものである。見返りの例：顧客に対して奉仕（サービス）をする→サービスに対して顧客が満足することにより、さらに顧客が増える→顧客が増えることにより利益が増える→利益が増えれば、顧客や従業員に還元することができる

これからの「職業奉仕」について

- ①「四つのテスト」を実践することにより、会社がよくなれば、それがロータリーの職業人としてのメリットである。
- ②ロータリーの基本理念が「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」であり、行動指針が「四つのテスト」である。
- ③最近の傾向として、職業奉仕が社会奉仕に傾いており、個々の奉仕活動から、目標を決めてみんなで奉仕するという方向にR Iの考えが変化していることから、将来奉仕部門から職業奉仕が消えるかもしれないが、基本的な考えからはなくなるだろう。
- ④現在、本来日本人が好きな職業倫理としての職業奉仕とは違った方向に向いているが、それはロータリアンの心の問題であり、例会で学び、外で実践するということが基本である。

Bテーブル

リーダー：青野秀樹会員



メンバー：
小田島会員
兒玉会員
石毛充幹事
高瀬会員

今回のテーマ「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」について個人の意見発表

●良く判らないが、今週の会報に記載されている①「奉仕だ、私利私欲ではない」②「儲けんと欲すれば先ず奉仕に徹せよ」の言葉に集約されるのではないか。

職業と奉仕を分けて考えると理解ができるが、「職業奉仕」一体としての言葉を捉えるのは難しい

●奉仕がサービスであるかどうかは難しい。

●今回のテーマを自身よく理解していない部分もある。

●ロータリアンになることが、職業奉仕と考える。「自分の職業から奉仕について意見を発表」

●大阪商人の丁稚奉公が基本にあり、暖簾を守るために顧客対応を考え商売をする。これを会社に当てはめて考え、それにより会社の隆盛を図る。

●信頼を得るための活動であり、それを長きにわたり行い、それにより顧客の満足を満たし喜んでもらうことが大事。人と人との良い関係を構築することが必要で、努力がいる。

●十人十色の人が存在し、それぞれの人たちと対応することの難しさを感じています。日々、朝、仏様に手を合わせ一日の始まりとしています。

●信頼を築くのは難しく、壊れるのは早い。良かれと思った行動が、反発をかったりするもので、世の中には色々な考えの方がおります。これらを、一纏めにしたことで説明することは難しい。

新入社員教育から、その社員が成長しクレーム対応できるスキルを持つ人物になるまでの課程が職業奉仕に繋がる。理想で仕事はできないこともある。

Cテーブル

リーダー：上総泰茂会員



本日のテーマを職業と関連してそれぞれに話していただきました。

下記に要約します。

報われることは結果であって奉仕の目的ではない。アイサーブかウイサーブで長い間論争があったが

○社会奉仕に関する決議23-34で解決された。その中の超我の奉仕理念（もっとも奉仕する者はもっとも報われる）はロータリー解釈が統一された幹である。最近のR Iの方針ではこの幹がなくなった。

○奉仕という言葉に役に立つと置換えたとき今日のテーマは自分にとって納得できる。自己満足に陥ることなく相手に受け入れられる奉仕（サービス）が出来たときに報われるのではないか。本日のテーマは目指す目標である。

○期待して奉仕するのは本末転倒であくまで結果として報われる。報われるのが目的ではない。実務上でも利益獲得を目的にすると間違った方向に進みがちであくまで顧客のために（奉仕）が基本。

○入会初期に奉仕という言葉からは自己犠牲を伴ったボランティアを思い浮かべ、報いられると

という言葉からはもっぱら経済上の利益を想像していたが、ロータリー活動に参加するにつれ自己啓発や仕事上で利益優先でなく相手への配慮が考えられるようになった。

○職業奉仕という言葉はロータリー以外では見当たらないので最初は意味がわかりづらい。仕事ではお客様のおもてなしが主なのでまさに奉仕が問われる。見返りを求めたおもてなしがそうでなかったか絶えず顧みて自己満足に陥ることなく修正するようにしている。お客様によるこんでいただくことが奉仕なのではと思っている。

○職業奉仕は継続すること。継続できることは社会から要請されている。職業は倫理観を持って長く続ける。

○職業奉仕の考え方は各自それぞれである。R I が従来ロータリーの金看板であった職業奉仕を奉仕部門の中に組み込んでしまった現在、私たちがこれから職業奉仕を改めて考え直す必要がある。

○最近のR I の方向性ではロータリーが完全にボランティア団体になり差別性が無くなり質も変わってくると思う。

Dテーブル

リーダー：高木浩一会員



※Dテーブルディスカッションについては次号掲載します

Eテーブル

リーダー：宮内秀章会員



■メンバー：
大岩会員
金島会員
宮内(秀)会員
副島会員
永澤会員

■テーマ：

「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」という職業奉仕の理念についての論議

■意見・発言内容

●入会間もないためロータリーの職業奉仕の概念についての理解は乏しいが、関わる地域のお客様の為に何が出来るかを常に考え、職業を通じお客様の満足度を高めるべく業務を遂行する事を心掛けている。

●職業を通じ利益を生み出し奉仕する。利益を生まなければ奉仕もできない。お客様の期待に応え自信を持って利益を上げられるよう、日々お客様

の変化するニーズに応えられるように努力していきたい。

●地域的な問題としては、奉仕する以前に会社がどう存続していくべきかという問題もあるのは事実ではないか？

●難しく考える必要はない。職業を通じ地域に暮らす人々、そして社会に貢献することではないか？

●「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」とは、まさに商人としての理想の形。

●戦後、高度経済成長期、そして現在など、時代によって職業奉仕のあり方が変化する（違う）のではないか？

●地域で働く人々の成長を支援する、人材を育成することが、地域社会やそこで生活を営む人々、家族などに貢献することではないか？

●人材育成、後進の育成を行うにも、会社自体が利益を生み出していることが必要だ。

●会社や自分自身が苦しい状況であると奉仕も困難である。あらゆる業種で50年、100年など会社を存続させることは非常に困難なこと。時代のニーズに上手く対応し選ばれ利益を生み出し奉仕する、そんな会社、自分でありたい。

●その他、全ての会員と日頃お話しできる訳ではないので、今回、「真面目ではあるが気楽にお話しできたこと。」は良い機会でありました。ありがとうございました。以上

【出席報告】

会員総数 41名 出席計算 39名

出席 27名

欠席 12名 出席 69.23%

欠席：伊東君・金子君・木曾君・越川君
丸山君・宮内(龍)君・大里君
櫻井(公)君・信太君・杉山君
富永君・高橋宏明君

【M U】なし

【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥ 1,000	計 ¥306,000
スモールコイン	¥ —	計 ¥ 30,770
米山BOX	¥ 3,700	計 ¥ 32,310
希望の風	¥ —	計 ¥188,200

次週のプログラム（2月8日）

「ロータリー財団100周年記念
シンポジウムに参加して」

高瀬 幸雄会員

お弁当：喜多川(ちらし)